

様式集

1. 事前相談申請書 第1号様式
2. 耐震評定申請書 第2号様式
3. 概要書 第3号様式
 - <RC>
 - ・ 診断
 - ・ 改修
 - <S>
 - ・ 診断
 - ・ 改修
 - <W>
 - ・ 診断
 - ・ 改修
4. 指摘事項回答書 第4号様式
5. 申請取下げ届 第5号様式
6. 業務期日延長依頼書 第6号様式
7. 評定後の変更申込書 第7号様式
8. 評定書の再交付依頼書 第8号様式
9. 評定書納品届 第9号様式

アウェイ建築評価ネット株式会社

Away Building Evaluation Net

事前相談申請書

申請日 年 月 日

会社名		TEL		FAX	
部署名		Mail			
診断者名					

評定申込 予定年月	年 月 予定				
区 分	耐震診断 ・ 耐震改修 ・ 耐震診断及び耐震改修				
耐震診断基準等					
耐震診断の種類	第 次診断法				
耐震改修計画の認定	無 ・ 有 (所管行政庁：)				
補助金制度の利用	無 ・ 有 (地方公共団体：)				
建築基準法に基づく確認申請等	無 ・ 有 (建築主事等：)				
建築物の名称					
所在地					
所有者					
建築物概要					
・ 延べ面積： m ² ・ 建築面積： m ²					
・ 階数：地上 階 地下 階 塔屋 階					
・ 高さ： m ・ 軒の高さ： m ・ 竣工年月： 年 月					
・ 構造種別・形式： ・ 用途：					
・ 耐震改修の方法：					

<相談事項>

- 1.
- 2.
- 3.

耐震評定申請書

アウェイ建築評価ネット株式会社
代表取締役社長 吉川 充 様

申込者

名称

代表者名

印

所在地 〒

電 話

下記について耐震評定を申請します。

記

区 分	1. 耐震診断 2. 耐震改修 3. 耐震診断及び耐震改修		
建築物の 名称等	1. 名 称 : 2. 所在地 : 3. 延べ面積 : m^2 4. 診断者 :	5. 主要用途 : 6. 建築年次 : 7. 階数 : 地上 階・地下 階 8. 軒高 : m	
構造種別	1. 鉄筋コンクリート造 2. 鉄骨造 3. 鉄骨鉄筋コンクリート造 4. 混構造 () 5. その他 ()		
耐震診断基準等		耐震診断の種類	第 次診断法
その他	耐震改修計画の認定	無・有 (所管行政庁 :)	
	補助金制度の利用	無・有 (地方公共団体 :)	
	建築基準法に基づく確認申請等	無・有 (建築主事等 :)	
連絡先	会社名 : 部署名 : 役職名及び ^{ふりがな} 担当者名 : 住 所 : 〒 TEL : FAX : E-mail :	受付 処理 欄	※
評定手数料請求先 (会社名のみ記入)		評定手 数 料 額 (税込)	※
請求先について (連絡先と異なる場合 は住所、担当者及び電 話番号も記入のこと)			
評定完了希望年月	平成 年 月		

(注意) ①※印のある欄は記入しないで下さい。
②正1部・副2部あわせて3部(副は正のコピー可)提出して下さい。
③申込者は建物所有者として下さい。

耐震診断結果の概要書【鉄筋コンクリート造】

診断者	事務所名		TEL								
	担当者		FAX								
建物概要	(1)建物名称										
	(2)所在地		(3)用途								
	(4)構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 階・地下 階・PH 階 特徴:									
	(5)竣工年月日	昭和 年 月 (竣工後 年)									
	(6)面積	建築面積	m ² ・延床面積	m ² ・診断対象 m ²							
	(7)高さ	軒高 m・階高 m									
	(8)桁行×梁間 全長(m) (標準桁行スパン×梁間スパン m)	× (×)	スパン数								
	(9)地盤	表層 ()・支持層 () GL- m									
	(10)基礎										
	現地調査結果 及び材料強度	(1)コンクリート	設計基準強度 F _c = 各階の圧縮試験強度平均値 σ _B = 標準偏差 σ = 診断時強度 F _c =								
(2)鉄筋		主筋 診断時降伏点強度 σ _y = 帯筋 診断時降伏点強度 σ _y =									
(3)鉄骨		診断時降伏点強度 σ _y =									
(4)中性化深さ		平均 (cm)・最大 (cm)									
補強目標	(1)Iso	(2)C _T ・S _D									
Is指標値 C _T ・S _D 値	経年指標	T =									
	階	X方向					Y方向				
		E ₀	S _D	I _s	C _T ・S _D	判定	E ₀	S _D	I _s	C _T ・S _D	判定
(注)											
電算ソフト						診断次数 ()					
考察	(1)建物の構造的特徴										
	(2)診断で判明した耐震性能上の問題点										

補強計画等の概要書【鉄筋コンクリート造】

補強設計者	事務所名		TEL										
	担当者		FAX										
建物概要	(1)建物名称												
	(2)所在地		(3)用途										
	(4)構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 階・地下 階・PH 階											
		特徴:											
	(5)竣工年月日	昭和 年 月 (竣工後 年)											
	(6)面積	建築面積	m ² ・延床面積	m ² ・診断対象	m ²								
	(7)高さ	軒高 m・階高 m											
	(8)桁行×梁間 全長(m)		×	スパン数									
	(8)桁行×梁間 (標準桁行スパン×梁間スパン m)	(×)									
	(9)地盤	表層 ()・支持層 () GL- m											
(10)基礎													
現地調査結果及び材料強度	(1)コンクリート	設計基準強度	F _c =										
		各階の圧縮試験強度平均値	σ _B =										
		標準偏差	σ =										
		診断時強度	F _c =										
(2)鉄筋	主筋	診断時降伏点強度 σ _y =											
	帯筋	診断時降伏点強度 σ _y =											
(3)鉄骨	診断時降伏点強度 σ _y =												
(4)中性化深さ	平均 (cm)・最大 (cm)												
診断で判明した耐震性能上の問題点													
補強目標	(1)Iso		(2)C _T ・S _D										
補強計画	(1)補強方針	(3)補強壁・鉄骨ブレース等の枚数											
		階	X方向		Y方向								
			壁	スリット	ブレース	壁	スリット	ブレース					
	(2)補強方法												
電算ソフト				診断回数 ()									
補強前後のIs指標値 C _T ・S _D 値	経年指標	T =	(補強後 T =)										
	階	X方向					Y方向						
		補強前			補強後			補強前			補強後		
		Is	S _D	C _T ・S _D	Is	S _D	C _T ・S _D	Is	S _D	C _T ・S _D	Is	S _D	C _T ・S _D
	(注)												
備考													

耐震診断結果の概要書【鉄骨造】

診断者	事務所名				TEL					
	担当者				FAX					
建物概要	(1)建物名称									
	(2)所在地				(3)用途					
	(4)構造・規模	鉄骨造		地上	階・地下	階・PH	階			
		特徴:								
	(5)竣工年月日	昭和	年	月	(竣工後	年)				
	(6)面積	建築面積		m ² ・延床面積	m ² ・診断対象		m ²			
	(7)高さ	軒高		m・階高	m					
	(8)桁行×梁間 全長(m)			×			スパン数			
		(標準桁行スパン×梁間スパン m)		(×)				
	(9)地盤	表層()・支持層()	GL-	m			
(10)基礎										
現地調査結果 及び材料強度	(1)コンクリート	設計基準強度		F _c =						
		各階の圧縮試験強度平均値		σ _B =						
	標準偏差		σ =							
	診断時強度		F _c =							
(2)鉄筋	主筋		診断時降伏点強度		σ _y =					
	帯筋		診断時降伏点強度		σ _y =					
(3)鉄骨	診断時降伏点強度		σ _y =							
(4)中性化深さ	平均 (cm)	・ 最大 (cm)					
補強目標	(1)Iso				(2)q					
	経年指標	T =								
Is指標値 q値	階	X方向				判定	Y方向			
		E ₀	S _D	I _s	q		E ₀	S _D	I _s	q
(注)										
電算ソフト					診断次数 (
考察	(1)建物の構造的特徴									
	(2)診断で判明した耐震性能上の問題点									

補強計画等の概要書【鉄骨造】

補強設計者	事務所名			TEL									
	担当者			FAX									
建物概要	(1)建物名称												
	(2)所在地			(3)用途									
	(4)構造・規模	鉄骨造		地上	階・地下	階・PH	階						
		特徴:											
	(5)竣工年月日	昭和 年 月		(竣工後 年)									
	(6)面積	建築面積		m ² ・延床面積	m ² ・診断対象		m ²						
	(7)高さ	軒高		m	階高	m							
	(8)桁行×梁間 全長(m)			×									
		(標準桁行スパン×梁間スパン m)		(×)	スパン数						
	(9)地盤	表層 ()		・	支持層 ()	GL- m							
(10)基礎													
現地調査結果 及び材料強度	(1)コンクリート	設計基準強度		F _c =									
		各階の圧縮試験強度平均値		σ _B =									
		標準偏差		σ =									
	(2)鉄筋	主筋		診断時降伏点強度 σ _y =									
帯筋		診断時降伏点強度 σ _y =											
(3)鉄骨	診断時降伏点強度 σ _y =												
(4)中性化深さ	平均 (cm)		・	最大 (cm)									
診断で判明した 耐震性能上の問題点													
補強目標	(1)Iso			(2)q									
補強計画	(1)補強方針	(3)補強壁・鉄骨ブレース等の枚数											
		階	X方向			Y方向							
	壁		スリット	ブレース	壁	スリット	ブレース						
	(2)補強方法												
電算ソフト				診断次数 ()									
補強前後の I _s 指標値 q値	経年指標	T =		(補強後 T =)									
	階	X方向						Y方向					
		補強前			補強後			補強前			補強後		
		I _s	S _D	q	I _s	S _D	q	I _s	S _D	q	I _s	S _D	q
(注)													
備考													

耐震診断結果の概要書(木造)

診断者	事務所名		TEL		
	担当者		FAX		
建物概要	(1)建物名称				
	(2)所在地				
	(3)用途				
	(4)構法・規模・使用	<input type="checkbox"/> 在来軸組工法 <input type="checkbox"/> 枠組壁工法 <input type="checkbox"/> 伝統構法 地上 3階立て 外壁:軽量モルタル下地リシ吹付 屋根:石綿セメント板 建物の区分 <input type="checkbox"/> 軽い建物 <input type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物			
		(5)建設年数			
		(6)増・改築	<input type="checkbox"/> 増築・改築なし <input type="checkbox"/> 増築・改築あり		
	(7)面積	建築面積: m ²	延床面積: m ²		
	(8)高さ	1階: m 2階: m 3階: m 軒高: m			
		最高高さ: m			
	(9)短辺長さ	1階: m 2階: m 3階: m			
	(10)基礎		(11)地盤種別		
	(12)積雪区分		(13)構造区分		
	(14)設計図書の有無				
	調査結果	(1)調査日			
(2)がけ等の有無					
(3)造成の履歴					
(4)柱の断面寸法		柱の傾斜値			
(5)床の仕様		床の傾斜値			
(6)屋根の仕様					
(7)耐震要素 ()内は壁強さ 倍率(kN/m)					
(8)接合部の仕様					
(9)部材の劣化、 損傷	損傷状況: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 少しあり <input type="checkbox"/> 多くあり <input type="checkbox"/> 極めて多くあり 腐朽状況: <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 少しあり <input type="checkbox"/> 多くあり <input type="checkbox"/> 極めて多くあり				
	(10)基礎の仕様と 鉄筋の有無				
(11)劣化度による 低減係数					

建物耐震診断(現状診断)

現状診断	(1)耐震診断法	<input type="checkbox"/> 一般診断法 <input type="checkbox"/> 精密診断法							
	(2)電算ソフト	<input type="checkbox"/> 使用あり <input type="checkbox"/> 使用なし							
		ソフト名:							
	(3)必要耐力Qr (一般診断法)	地震係数Z	軟弱地盤割増	形状割増(短辺4.0m以下の場合)					
		混構造割増	積雪用必要耐力	単位床面積当たりの必要耐力(kN/m ²)					
		必要耐力Qr							
	(4)必要耐力Qr (精密診断法)	共通	地震係数Z	必要耐力の算定方法					
			Z=1.0	<input type="checkbox"/> 建築基準法施工令第88条 <input type="checkbox"/> 略算法					
			必要耐力Qr						
		略算法	軟弱地盤割増	混構造割増	形状割増(短辺6.0m以下の場合)				
			積雪用必要耐力		単位床面積当たりの必要耐力(kN/m ²)				
		精算法	振動特性係数	軟弱地盤割増	標準せん断係数	固有周期(秒)			
			層せん断力 分布係数Ai 建物重力(kN)						
		(5)保有耐力 Pd、Qd	一般 診断 法	階	方向	耐力要素の耐力の合計 P	耐力要素の配置・床仕様 による低減係数E	劣化度 低減D	保有耐力 Pd(kN)
	3				X				
				Y					
	2			X					
	Y								
1	X								
	Y								
精密 診断 法	階		方向	耐力要素の耐力の合計 Qwn+Qww(+Qc)	剛性率による低減 Fs	偏心率・床仕様 による低減 Fe	保有耐力 Pd(kN)		
			3	X					
			Y						
	2		X						
			Y						
	1	X							
	Y								
(6)上部構造 評点Iw	方向	3階		2階		1階			
	X								
	Y								
(7)診断結果	<input type="checkbox"/> 倒壊しない <input type="checkbox"/> 一応倒壊しない <input type="checkbox"/> 倒壊する可能性がある <input type="checkbox"/> 倒壊する可能性が高い								

指 摘 事 項 回 答 書

<input type="checkbox"/> 予備審査 <input type="checkbox"/> 1回 WG <input type="checkbox"/> 2回 WG <input type="checkbox"/> 3回 WG <input type="checkbox"/> 本委員会	日 時	平成 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分	場 所	アウェイ建築 評価ネット(株)	出 席 者	審 査 委 員	
件 名					申 込 者		
提 出 資 料							
ペ ー ジ	指摘及び検討事項 (質問等も含む)	回答及び処置			備 考		

ページ	指摘及び検討事項（質問等も含む）	回答及び処置	備 考

正・副あわせて 2 部（副は正のコピー可）提出して下さい。

年 月 日

取下げ届

アウェイ建築評価ネット株式会社
代表取締役社長 吉川 充 様

申込者の名称

申込者の代表者名

印

申込者の所在地 〒

電 話

平成 年 月 日 付けで耐震評定を申込みした下記の件について、取下げ
ます。

1. 件名
2. 評定区分
3. 評定年月日、番号
4. 理由

正・副あわせて 2 部（副は正のコピー可）提出して下さい。

年 月 日

業務期日延期依頼書

アウェイ建築評価ネット株式会社
代表取締役社長 吉川 充 様

申込者の名称

申込者の代表者名

印

申込者の所在地 〒

電 話

平成 年 月 日付けで耐震評定を申込みした下記の件について、期日の延期を依頼します。

1. 件名
2. 受付番号
3. 延期期日
4. 理由

※正・副あわせて2部（副は正のコピー可）提出して下さい。
※変更前・変更後の図面、計算書等を添付し、変更部分に着色して下さい。

年 月 日

評定後の変更申込書

アウェイ建築評価ネット株式会社
代表取締役社長 吉川 充 様

申込者の名称

申込者の代表者名

印

申込者の所在地 〒

電 話

平成 年 月 日 付けで耐震評定を取得した下記の件について、一部変更があったため、変更の申込をします。

なお、対象建築物の件名等、変更内容、変更に係る構造上の見解については下記のとおりです。

記

1. 評定区分
件 名
評定年月日、番号
2. 変更内容
3. 変更に係る構造上の見解

事務局記入欄

正・副あわせて 2 部（副は正のコピー可）提出して下さい。

年 月 日

評定書の再交付依頼書

アウェイ建築評価ネット株式会社
代表取締役社長 吉川 充 様

申込者の名称

申込者の代表者名

印

申込者の所在地 〒

電 話

平成 年 月 日 付けで耐震評定を取得した下記の件について、評定書の再交付を依頼します。

なお、対象建築物の件名等については下記のとおりです。

記

1. 評定区分
件 名
評定年月日、番号
2. 備考

年 月 日

評定書納品届

アウェイ建築評価ネット株式会社
代表取締役社長 吉川 充 様

申込者の名称
申込者の代表者名
申込者の所在地 〒
電 話
届出者（代理者）

平成 年 月 日 付けで耐震評定を取得した下記の件について、評定書の
副本1部を納品します。

なお、対象建築物の件名等については下記のとおりです。

記

1. 評定区分
件 名
評定年月日、番号
2. 作成図書数
正本1部
副本1部（アウェイ建築評価ネット株式会社提出用）
副本 部（作成部数をご記入下さい）